

# 山形県東田川郡三川町（みかわまち）

## 大字成田新田（なりたしんでん）における祝言のあいさつ

佐藤 亮一

### ○はじめに

1. 対象地の地理的環境：三川町は山形県庄内地方、庄内平野の中心部に位置し、北は酒田市、南は鶴岡市に接している。国道7号線が町の中央を貫いている。成田新田は三川町の北西に位置し、酒田市に接している。
  2. 対象地の社会的経済的環境：典型的な農業集落。第1種専業農家（農業収入が農業外収入より多い家）が多い。
  3. 生業：庄内米（ササニシキ）の主産地、その他、枝豆、とうもろこし、ひらたけなどを産する。
  4. 交通：鶴岡市よりバスが1日3本ほど走っている。
  5. 人口：127世帯。579人（三川町は1857世帯。8303人）。1991年2月28日現在
  6. 調査年月日：1991年3月1日・2日。午前10時～午後4時半。
  7. 方言話者：

|      |    |      |      |        |   |      |       |
|------|----|------|------|--------|---|------|-------|
| A m. | 本間 | 光雄氏  | 1928 | (大正15) | 年 | 5月生  | (84歳) |
| B m. | 斎藤 | 恒彦氏  | 1932 | (昭和7)  | 年 | 12月生 | (58歳) |
| B f. | 斎藤 | 京氏   | 1936 | (昭和11) | 年 | 10月生 | (54歳) |
| C m. | 青山 | 竹悦氏  | 1935 | (昭和10) | 年 | 9月生  | (55歳) |
| D f. | 斎藤 | 文子氏  | 1938 | (昭和11) | 年 | 10月生 | (54歳) |
| E m. | 大滝 | 助太郎氏 | 1938 | (昭和13) | 年 | 9月生  | (52歳) |
| E f. | 大滝 | けう子氏 | 1942 | (昭和17) | 年 | 8月生  | (48歳) |
| F m. | 工藤 | 彦市氏  | 1939 | (昭和14) | 年 | 2月生  | (52歳) |
| F f. | 工藤 | みえこ氏 | 1942 | (昭和17) | 年 | 1月生  | (49歳) |
| G f. | 渡辺 | 潛女氏  | 1942 | (昭和17) | 年 | 11月生 | (48歳) |
- なお、話者略号（A m～G f）で大文字部分が同一記号の話者（斎藤恒彦氏・京氏、大滝助太郎氏・けう子氏、工藤彦市氏・みえこ氏）はそれぞれ御夫妻である（mは男性、fは女性であることを示す）。
8. 調査場所：本間光雄氏は調査者（松田氏）の自宅で、その他の話者はそれぞれの話者の自宅で調査した。
  9. 調査者：三川町方言研究会会員の松田俊一氏（1946＝昭和23年生まれ。

成田新田の生まれ育ち)

10. 調査方法：松田氏が面接によって調査。調査結果を松田氏が文字化し、録音テープとともに佐藤亮一に送付。佐藤がテープを聴いて文字化を修正し、アクセントと共通語訳を付けた。なお、以下の記述で、文末の〈 〉内に回答者の略号を記す。
11. 文末に付けた「マ」の記号は、上昇調の音調を表す。たとえば、「タマ」は、[タマ]を短く(1拍に)発音したような音調である。

## I. 結納授受のあいさつ

1. 仲人が新婦の家に結納を持参した時、座敷で、その家の主人(新婦の父親)に向かって、どのようなあいさつをしますか。

○ホンズツワ オメデトーゴザイマス。本日はおめでとうございます。

〈Am〉(高男→高男) (あらたまり) (高待遇)

○ホンズツワ オヒガラモヨク マニトニ オメデトーゴザイマス。ニ  
アタビ ワタクス下モガ 〇〇ケヨリノ スシャトステ オト下ケニ  
アガリマスタ。イクヒサスク ゴジエノークダサイマスヨ一 オネガ  
イスマス。本日はお日柄も良く、誠におめでとうございます。このた  
び、私どもが〇〇家よりの使番としてお届けにあがりました。幾久し  
く御受納下さいますようお願いします。〈Bm〉

(高男→高男) (あらたまり) (高待遇)

○ホンズツワ オメデトーゴザイマス。〇〇ケノ ミヨーダイトステ  
ゴユイノーオ ズサンイタシマスタ。イクヒサスク オネガイモース  
アゲマス。本日はおめでとうございます。〇〇家の名代として御結納  
を持参いたしました。幾久しくお願い申し上げます。〈Cm〉(高男  
→高男) (あらたまり) (高待遇)

2. その家の主人(新婦の父親)は、仲人に応えて、どのようなあいさつをしますか。

○キョーワ 下ーモ ゴダローサンデスタ。カズカズノ ステモノオ  
チョーダイステ アリガトーゴザイマス。今日はどうも御苦労さんで  
した。数々の品物を頂戴してありがとうございます。〈Am〉(高男  
→高男) (あらたまり) (高待遇)

○ホンズツワ タイヘン 下ーモ アリガトーゴザイマス。イクヒサス

ク ヨロス<sup>マ</sup> オネガイスマス。本日はたいへんどうもありがとうございます。幾久しく、よろしく申し上げます。<B m> (高男→高男) (あらたまり) (高待遇)

○イクヒサズク オウケイタスマス。コンゴ ヨロスク オネガイスマス。幾久しくお受けいたします。今後よろしく申し上げます。<C m> (高男→高男) (あらたまり) (高待遇)

3. その時の新婦のあいさつがあれば記してください。

○なし。

## II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決まった家の人に、道で出会って、近所の人たちはどのようなあいさつをしますか。

○オメーナ キマテ イガッタ<sup>ノ</sup>。おまえの家の者(息子)は、(嫁が)決まって良かったねえ。<A m> (高男→高男) (くつろぎ) (中待遇)

○ヨメ キマッタ<sup>ン</sup>デネガ。イガッタ<sup>ノ</sup>。嫁が決まったのでないか。良かったねえ。<B m> (高男→高男) (くつろぎ) (中待遇)

○オメーデモ ヨメサン キマテ イガッタ<sup>ノ</sup>。おまえの家でも嫁さんが決まって良かったねえ。<B f> (高女→高女) (くつろぎ) (中待遇)

○オメーデ ○○サンノ ヨメ キマタ<sup>ソ</sup>ーデネガ<sup>ス</sup>。おまえの家で○さんの嫁が決まったそうでないか。<C m> (高男→高男) (くつろぎ) (中待遇)

○ワエナ ヨメ キマテ イガッタ<sup>ノ</sup>。おまえの家の者(息子)は嫁が決まって良かったねえ。<G f> (高女→高女) (くつろぎ) (中待遇)

注: 「ワ」は同性の親しい間柄で用いる対称代名詞。「オメ」より待遇価が低い。「オメ」とほぼ同じ待遇価の対称代名詞に「アンダ」があるが、これは主として女性が用いる。

2. 嫁をもらう家の人へ、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつをしますか。

- オカゲサマデ イガッタヌ。おかげさまで良かった。〈Am〉(高男→高男)(くつろぎ)(中待遇)
- マズ オカゲサマデ ヤット キマテ イガッタヌ。オメガタドゴヨブゾ。まず、おかげさまで、やっと決まって良かった。おまえたちを(結婚式に)招待するよ。〈Gf〉(高女→高女)(くつろぎ)(中待遇)

### Ⅲ. 嫁に出すことが決まった家の人へのあいさつ

1. 嫁に出すことの決まった家の人に、近所の人たちはどのようなあいさつをしますか。
- オメーナ ドゴソゴサ キマタデネゲガ。イガッタノ。おまえの家の者は、どこそこ(嫁ぎ先の名)に決まったそうでなかったか。良かったねえ。〈Am〉(高男→高男)(くつろぎ)(中待遇)
- オメーデ キマタデネケガ。ドサ ケダヤー。おまえの家で決まったのでなかったか。どこに(嫁に)やるのかい。〈Bm〉(高男→高男)(くつろぎ)(中待遇)
- オメーノ コダバ キダテモ イーサゲ スアワシェダノ。おまえの娘ならば気だても良いからしあわせだねえ。〈Cm〉(高男→高男)(くつろぎ)(中待遇)
- トツギサギノ ショダ イー ヒトダサゲ スアワシェダノ。嫁ぎ先の人たちは良い人だからしあわせだねえ。〈Cm〉(高男→高男)(くつろぎ)(中待遇)
- イガッタノ。オメーデ キマテ。良かったねえ。おまえの家で決まって。〈Df〉(高女→高女)(くつろぎ)(中待遇)
- オメーナ ヨメ キマッタデケネガ。イガッタゼンノ。おまえの家の者は嫁(に行くことが)が決まったのではないか。良かったねえ。〈Fm〉(高男→高男)(くつろぎ)(中待遇)
2. 嫁に出す家の方は、そのあいさつに答えて、どのようなあいさつをしますか。
- マズ オカゲサマデ。まずおかげさまで。〈Am〉(高男→高男)(くつろぎ)(中待遇)
- オカゲデ エ下サ キマテ イガッタヌ。おかげで良いところに決ま

- って良かった。<Bf> (高女→高女) (くつろぎ) (中待遇)
- ミチサンサ スンペ カゲダドモ キマタデ。皆さんに心配かけたけれど決まったよ。<Em> (高男→高男) (くつろぎ) (中待遇)
- オカゲサマデ。ツトマルモンダカ、ツトマラネモンダカ、スンペダ。おかげさまで。(嫁が) つとまるもんだか、つとまらないもんだか、心配だ。<Fm> (高男→高男) (くつろぎ) (中待遇)
- オラエノコア、モジャネグデ シュードサ ツトメレルモンダガ ツトメレネモンダガ。ホレデモ モラテケルデモノ。私の家の娘は、未熟で、姑につとめられるもんだか、つとめられないもんだか(心配だ)。それでも(嫁に)もらってくれると言うんだよ。<Gf> (高女→高女) (くつろぎ) (中待遇)

#### IV. 結婚式当日のあいさつ

結婚式当日、結婚式に出席した人たちは(親戚以外)、どのようなあいさつをしますか。

##### 1. 新郎の父親にどのようなあいさつをしますか。

- コノタビワ オメデトゴザイマス。オラサマデ ツゲ モラテ。このたびはおめでとうございます。私にまで(結婚式の)案内をもらって(ありがとうございます)。<Bf> (高女→高男) (あらたまり) (高待遇)
- タイヘン オメデトゴザイマス。たいへんおめでとうございます。<Em> (高男→高男) (あらたまり) (高待遇)

##### 1-2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをさますか。

- カエテ ゴクロー カゲマスデ。かえって御苦労をかけまして。<Am> (高男→高男) (あらたまり) (高待遇)
- ゴクロー カゲデ。キテモラテ ナニヨリダ。御苦労をかけて。来てもらってなによりだ。<Bm> (高男→高男) (あらたまり) (中待遇)
- イソガス下ゴ ゴクロー カゲデ。キテモラテ イガッター。忙しいところ御苦労かけて。来てもらって良かった。<Cm> (高男→高男) (あらたまり) (中待遇)

2. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか。

- ホズツツ オメデトー ゴザイマス。本日はおめでとうございました。〈Am〉(高男→高男)(あらたまり)(高待遇)
- オメデトーゴザイマス。オイサマデ ツテ モラテ コゲダ メンゴイ ヨメ ミシエデモラテ。おめでとうございます。私にまで案内をもらって、このようなきれいなお嫁さんを見せてもらって(ありがとうございます)。〈Bf〉(高女→高男)(あらたまり)(高待遇)
- ダイヘン オメデトーゴザイマス。メンゴイ ヨメサンダ。たいへんおめでとうございます。きれいなお嫁さんだね。〈Em・Ef〉(高男・高女→高男)(あらたまり)(高待遇)

2-2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

- コレガラワ オシエワナリマスノデ ヨロスグ オネガイスマス。これからはお世話になりますのでよろしく願います。〈Am〉(高男→高男)(あらたまり)(高待遇)
- ナンボカス オシエワナツカス メンドーミデクダヘ(チャ)たいへんお世話になりますが、面倒をみてください(ね)。〈Bm〉(高男→高男)(あらたまり)(中待遇)
- オレエナナノ ナニモ デギネドモ メンドーミデクダヤチャ。私の家の者(娘)なんか何もできないけれど、面倒をみてくださいね。〈Bf〉(高男→高男)(あらたまり)(中待遇)
- マス、オカゲサマデ。ムスメモ ウスケネドモ メンドミデクレ。まず、おかげさまで。娘も未熟だけでも、面倒をみてくださいね。〈Cm〉(高男→高男)(あらたまり)(高待遇)
- ナンニモ スラネハゲ ヨロスグ オネガイスマス。カラダダゲワ ジョーブダハゲ ヨロスグ オネガイスマス。何も知らないから、よろしく願います。身体だけは丈夫だから、よろしく願います。〈Em〉(高男→高男)(あらたまり)(高待遇)

V. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて、近所の家にあいさつをして回る時、姑はどのようなあいさつをしますか。

- コレガラ オシエワナリマスノデ オネガイスマス。これからお世話

になりますので、お願いします。〈Am〉(高女→高男または高女)  
(あらたまり)(高待遇)

○コレガラ オシェワナツド オモウサゲ ヨロスグ タノミマス。  
これからお世話になると思うので、よろしくお願いします。〈Bm〉  
(高女→高男または高女)(あらたまり)(高待遇)

2. そのあいさつに答えて、近所の人はどうのようにあいさつをしますか。

○カエツテ オラ(エ)ゴソ。かえって私(の家)こそ(よろしく)。  
〈Am〉(高男→高女)(あらたまり)(高待遇)

○オラエサマデ コゲステモラテ。イガッタア。私の家にまでこのよ  
うに(土産を)してもらって(ありがとう)。良かったねえ。  
〈Df〉(高女→高女)(あらたまり)(高待遇)

## VI. 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほどまえに、長男(29歳)に嫁をもらった60歳台の父親へ、結婚式  
に招かれた50歳台の女性が、昼下がりの路上で、どのようなお祝いの  
あいさつをしますか。

○コノジョワ オーゴツツオ ナテ。この前は御馳走になって。  
〈Am〉(高女→高男)(くつろぎ)(中待遇)

○コノメワ ゴツツオ ナテ。この前は御馳走になって。〈Cm〉  
(高女→高男)(くつろぎ)(中待遇)

○コノアイダワ ゴツツオナリマステ。エー アネチャ モラテ イガ  
ッタア。この間は御馳走になりまして。良い娘さんをもって良か  
ったねえ。〈Df〉(高女→高男)(くつろぎ)(中待遇)

2. 父親は、それに答えて、どのようなあいさつをしますか。

○カエテ ゴグローカゲテ。かえって御苦労をかけて。〈Am〉(高男  
→高女)(くつろぎ)(中待遇)

○マズ ミンナダノ オカゲテ。ヨロスグ タム。まずは皆さんのお  
かげで(無事にすみました)。よろしく頼む。〈Bm〉(高男→高女)  
(くつろぎ)(中待遇)

○ミナサンサ ゴクロカゲテ。キテモラテ イガッタア。皆さんに御苦  
勞かけて。来てもらって良かった。〈Cm〉(高男→高女)

(くつろぎ) (高待遇)

○コレガラ オシェワナリマスノデ ヨロスグ タムデー。これから  
お世話になりますのでよろしく頼むよ。〈E f〉(高男→高女)

(くつろぎ) (中待遇)

○カエテ ゴテゲ カゲデー。かえって御負担をかけてねえ。

〈F m〉(高男→高女) (くつろぎ) (中待遇)

## VII. 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦(あるいは両親)がお礼に行った時、  
どのようなあいさつをしますか。

○コノアイダワ ゴクロー カケマステ。ブズ リョコーサ イツテキ  
マスタノデ タイスタコトネドモ オミヤゲデス。この間は御苦勞か  
けまして。無事新婚旅行に行ってきましたので、たいしたものではな  
いが、おみやげです。〈B f〉(若男→高女) (あらたまり)  
(高待遇)

○コノアイダワ タイヘン ゴクロー カケマステ。コレガラワ イロ  
イロ オシェワテッドモ ヨロスグ オネガイスマスタ。この間はた  
いへん御苦勞かけまして。これからは、いろいろお世話になりますが、  
よろしくお願いします。〈E f〉(若男→高女) (あらたまり)

2. 仲人は、それに応じてどのようなあいさつをしますか。

○ナニゴトモチゲ イテキテ イガッタ。ナガヨグ ステモラエバ  
ナニモ ユーゴド ネサゲ。何事もなく(無事に)(新婚旅行に)行  
って来て良かった。仲良くしてもらえば何も言うことないから。  
〈B f〉(高女→若男) (あらたまり) (中待遇)

○オレバリチネグ ミナサン ヨグ ヤテクエデ スギモ ウマグ イ  
テ。コレガラワ カテーナイモ エンマンニ ステクレ。私ばかりで  
なく、皆さん良くやってくれて、式もうまくいって。これからは家庭  
内も円満にしてくれ。〈E f〉(高女→若男) (あらたまり)  
(中待遇)

## VIII. 嫁の初めての里帰りのあいさつ



1. 總がはじめて星廻りする時、總ぎ先の親に、どのようなあいさつをしますか。

○シエバ イテクル。それでは、行ってくるね。<B f> (若女→高女) (くつろぎ) (中待遇)

○オト—サン オカ—サン イッテキマス。オミヤゲ モラッテ。イタダイテ イキマス。お父さん、お母さん、行ってきます。おみやげもらって (ありがとうございます)。いただいでいきます。<C m> (若女→高女) (あらたまり) (高待遇)

○ヤラシエデ モラウ—。行かせてもらうね。(若女→高女) (くつろぎ) (中待遇)

○オト—サン オカ—サン ○○サ イテキマス。オミヤゲ モラテ。イタダイテ イキマス。お父さん、お母さん、○○ (星の繁華の名) に行ってきます。おみやげもらって (ありがとうございます)。いただいでいきます。<G f> (若女→高女) (あらたまり) (高待遇)

2. 両親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○ユックリ イテコイ。ゆっくり行ってきたさいね。<B m> (高男・高女→若女) (くつろぎ) (中待遇)

○キオツケテ イテコイ—。気をつけて行ってきたさいね。<F f> (高男・高女→若女) (くつろぎ) (中待遇)

(フェリス女学院大学)